

TC·HELICON



# VoiceTone C1

ユーザーマニュアル

## 重要 - 安全のために

- 必ずお読みください。
- この書類は手の届くところに保管してください。
- 全ての警告をお守りください。
- 全ての指示に従ってください。
- 本機を水気の近くで使用しないでください。
- 本体の手入れは、乾いた布で乾拭きしてください。
- 換気に必要となる本体の開口部は塞がないでください。本体の設置は、製造者の指示に従ってください。
- ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、音響用アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発する機器の近くに設置しないでください。
- 本機に設置するアクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
- 本体の点検・修理が必要となった場合は、必ず認定技術者までご連絡ください。パワーサプライのケーブルやプラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本体の動作異常が生じた、本体を落としたなど、原因に関わらず本機に破損が生じた場合はサービスが必要です。

## 警告！

- 感電や発火のリスクを軽減するため、本体に水が垂れたりはねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。

## 保守について

本体の保守点検修理は必ず有資格者の手で行なってください。

## 注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

## (JP) イントロダクション

VoiceTone C1 は、シンプルなフットペダルにピッチ補正／HardTune／ジェンダー・エフェクトを集約したボイス用エフェクターです。

VoiceTone C1 は、ライブ・パフォーマンスやレコーディングで極限まで音程の正確性を求めるシンガーに最適です。また、意図的に機械的なピッチ補正でロボットのようなボイスにする「シェール効果」も得られます。ジェンダー・コントロールも搭載し、声に深みを足して男性的な声にしたり、逆に声を細くして女性的またはアニメ声的に仕立てるエフェクトを加えられます。

- 超シンプルなセットアップとコントロール
- ATTACK（アタック）コントロールにより、マイルドからワイルドまで、ピッチ補正の特性を幅広く調節可能
- ピッチ情報のガイド方法を柔軟に選択可能：キー、クロマチック（キーなし）、コード楽器のイン／スルー
- インストゥルメント・スルーにバズ／ハム対策用のグラウンド・リフトを搭載
- TC-Helicon MP-75 マイクロフォンを接続することにより、マイクからのエフェクトのスイッチングに対応
- コンピューター接続用の USB 端子を搭載。VoiceSupport アプリケーションからファームウェア・アップデート、ニュース、使用上のヒントなどを入手または閲覧できます



- 1 - エフェクト・オン/オフ・フットスイッチ
- 2 - インストゥルメント・スルー (アンプ/PA 接続用)
- 3 - インストゥルメント・グラウンド・リフト (ON 時リフト)
- 4 - マイク・インプット・レベル・コントロール
- 5 - キー・セレクター、クロマチック (CH) 対応
- 6 - アタック・スピード・コントロール
- 7 - ジェンダー・コントロール
- 8 - バランス XLR マイク・インプット
- 9 - バランス XLR モノラル・アウトプット
- 10 - パワー・イン
- 11 - コンピューター接続用 USB 端子
- 12 - インプット・レベル LED (緑=信号、赤=クリップ)
- 13 - MP-75 マイク (別売) 経由のエフェクト切替 (イン=オン)
- 14 - ガイド・インストゥルメント・インプット・ジャック
- 15 - エフェクト・アクティブ LED インジケーター



## 接続

**MIC (マイク) ジャック** - バランス XLR ケーブルでマイクをここに接続します。ファンタム・パワーは常時オンです。

**OUT (アウト) ジャック** - PA ミキサー、他の VoiceTone ペダル、パワード・スピーカー等の出力先に接続します。

**POWER (パワー) イン** - 付属の 12VDC パワーサプライをここに接続します。

### オプション

**USB** - VoiceSupport をインストールしたコンピューターに接続すると、製品登録、最新ヴァージョン、ティップ等の閲覧操作ができます。

**INST (インストゥルメント) イン** - キー・セレクターを CH (クロマチック) に設定している際に、ここに接続した楽器で弾いたコードが認識されます。

**INST (インストゥルメント) アウト** - 楽器を PA やギターアンプ等の出力先に接続します。



- 接続時には PA を下げてください。
- VoiceSupport の最新版は [www.tc-helicon/voicesupport](http://www.tc-helicon/voicesupport) からダウンロードできます。
- USB パワーには未対応です。
- PA／アンプからハムが聞こえる場合は、GRND LIFT ボタンをオンにしてみてください。それ以外の場合は、オフでご使用ください。

## 初回時のセットアップと使用法

1. PAのマスター・ボリュームを絞ります。
2. 図の通りマイクとPAに接続してから、ACアダプターを接続します。ライブ・パフォーマンス時には、USB接続は必要ありません。
3. キーをCに、ATTACKコントロールをHARDに、GENDERコントロールをセンター・クリックに設定します。
4. マイクに向かって歌いながら、LEDが緑に点灯するようにMIC GAINコントロールを調節します。一番大音量の時点で瞬間的に赤く点滅する程度のレベルはOKです。
5. エフェクトがオンになっていることを確認します（センターLEDが点灯します）。
6. 歌いながら、PAのボリュームを適切な音量に上げます。

歌っている間、ピッチがCメジャーのキーの音程間を唐突に行き来するのが聞こえるはずです。楽器で同じキーの伴奏をしてみると、HardTuneエフェクトの楽曲内での意味合いが理解しやすくなるでしょう。エフェクトの詳細に移る前に、この段階で各コントロールを動かしてみて効果の変化をご確認いただけます。

## ファンタム・パワー

SinglesシリーズのVoiceToneにファンタム・パワーのオン／オフ・ボタンはありません。本体の電源がオンになるとファンタム・パワーが供給されます。ファンタム・パワーを必要としないマイクも正しく作動します。配線時には、必ず事前にPAがミュートされていることを確認した上で電源を最後に接続してください。こうすることで、機材に悪影響を与えるポップ・ノイズを避けられます。

## エフェクト詳細

**キー・コントロール** - キーの設定は、HardTune とピッチ補正で音楽的に意味のある効果を得るために最も重要な要素です。このセレクターはメジャー・キーでの音程表示となります。マイナー・キーの対応表は次の通りです：

メジャー	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
ナチュラルマイナー	Am	A#m	Bm	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m
ドリアンマイナー	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm	Cm	C#m

Cのキーでは、ナチュラルマイナーはG#、ドリアンはAを含みます。CH (クロマチック) のセッティングはあらゆるキーでの伴奏に対応します。ゆっくり目のアタック設定との組み合わせで、全体的なピッチ補正に使用できます。楽器を接続している場合、コード認識をオンにするにはCH を選びます。

**ATTACK (アタック)** - 左に回しきるとピッチ補正の効果は聞こえず、ジェンダー・エフェクトのみとなります。通常のピッチ補正には、センター・クリックまでの設定が適しています。HARD 側に回していくと、エフェクトとしての効果になります。

**GENDER (ジェンダー)** - センター・クリックの設定で効果なしとなります。左側では深い男性的な声、右側で女性的からアニメ声へと変わっていきます。この効果はピッチ補正と同時に使用できます。

**INST IN (インストゥルメント・イン)** - エフェクトのかかっていないギター等の和声楽器を接続することで、ピッチ補正を楽曲に合わせることができます。キーのみでは正しい音程が得られない場合に、これが一番柔軟な方法です。

## 複数台の VoiceTone Single ペダルの同時使用

複数の VoiceTone ペダルを同時に使用することができます。その場合、マイク・ゲインの調節が必要となるのは一台目のみで、二台目以降は全て MIC GAIN ノブを左に回しきった状態で使用します。

ペダルの性能を発揮させるために、接続の順番は重要です。台数と組み合わせによって、次の接続順を推奨します。

2ペダル : D1 > R1      T1 > D1      C1 > D1  
            T1 > C1      T1 > R1      C1 > R1

3ペダル : T1 > D1 > R1      T1 > C1 > R1  
            C1 > D1 > R1      T1 > C1 > R1

4ペダル : T1 > C1 > D1 > R1

## VoiceSupport アプリケーション

VoiceSupport は、TC-Helicon 製品をより快適に使用するためのアプリケーションです。製品に新機能を加える等のファームウェア・アップデート等に使用するだけでなく、次の機能を備えています。

- ファームウェア・アップデートや新機能へのアクセス
- ビデオ、アーティスト・プロフィール、活用法等の閲覧
- 製品のユーザー登録

## VoiceSupport アプリケーションのインストール方法

1. [www.tc-helicon.com/voicesupport](http://www.tc-helicon.com/voicesupport) から VoiceSupport をダウンロードします。
2. コンピューターに VoiceSupport をインストールします。
3. 製品をコンピューターに USB 接続します。

4. VoiceSupport を起動します。
5. ニュースをご一読後、様々な機能にアクセスするにはウィンドウ上部のタブをクリックします。

## マイク・コントロール機能

マイク・コントロール機能により、TC-Helicon MP-75 マイクロフォン（別売）からエフェクトをオン／オフできます。MIC CONTROL スイッチを押すと、接続されている任意のペダルまたは全てのペダルのオン／オフを切り替えられます。マイク・コントロールを行いたくない場合は、スイッチをオフにします。複数台のペダルを同時にコントロールするには、最後のペダルを除く全てのペダルのコントロール・シグナル・パススルー機能をオンにする必要があります。この機能をオン／オフするには、エフェクトのフットスイッチとマイクのスイッチを3秒間長押しします。



### フィードバック対策

- モニターまたはPAスピーカーをマイク前面に向けないでください。
- マイクに口を限りなく近づけて歌ってください。
- TC-Helicon の MP-55 または MP-75 等、スーパーカーディオイドのダイナミック・マイクをお試しください。
- PA のチャンネル EQ とグラフィック EQ をフラットにしてみてください。
- バンド全体の音量を落としてもらってみてください。

## FAQ

### 音が歪みます。

MIC GAIN ノブの設定が高すぎるかもしれません。インプット LED が通常グリーンに点灯して、ピーク時に稀に瞬間に赤く点滅する程度のレベル設定にしてください。

### AUX センド／リターンに接続できますか？

接続できます。接続にはバランス XLR-TRS ケーブルをご使用ください。ミキサーからのラインレベルの信号を受け付けるには、MIC GAIN を絞りきってください。

### ミキサーに接続する時に DI ボックスが必要となりますか？

必要ありません。

### エフェクトのオン／オフが勝手に切り替わります。

この現象は、マイク・コントロール機能がオンで、疑似バランス出力のミキサーに接続している際に起こります。マイク・コントロール機能を搭載している TC-Helicon 製のマイクを接続する以外の場合は、マイク・コントロールをオフにしてください。

## (JP) 仕様

### 入力

マイク入力インピーダンス	バランス : 2.68 kΩ
マイク入力レベル@ 0 dBFS	-42 dBu ~ +1 dBu
EIN @ 最大マイクゲイン $R_g = 150\Omega$	-126 dBu
マイク入力 S/N 比	>104 dB
ギター入力インピーダンス	1 MΩ
ギター入力レベル@ 0 dBFS	-7 dBu ~ +17 dBu
ギター入力 S/N 比	>115 dB

### 出力

出力インピーダンス、バランス／アンバランス	200 Ω / 100 Ω
フルスケール出力	+1 dBu
ダイナミックレンジ	>104 dB、20 Hz ~ 20 kHz
周波数特性	+0 / -0.3 dB、20 Hz ~ 20 kHz

### 電源

パワーサプライ (付属)	12V .4A 
--------------	---

### 環境

作動環境温度	0 °C ~ 50 °C
保管環境温度	-30 °C ~ 70 °C
湿度	最大 90% (結露なきこと)

### 寸法 & 重量

寸法 : 140×90×60、重量 : 420 g

### 保証

[www.tc-helicon.com/support](http://www.tc-helicon.com/support) 参照

仕様は予告無く変更となることがあります。